



## 第2部 公務員試験を知ろう！



## 第2部 公務員試験を知ろう！

第2部では、内定者7名による国家公務員一般職試験の勉強・対策方法をお伝えします。なお、本冊子に記載している試験方法や内容は、令和6年度入省内定者が受けた試験について述べたものであり、次年度以降の試験とは異なる可能性があります。

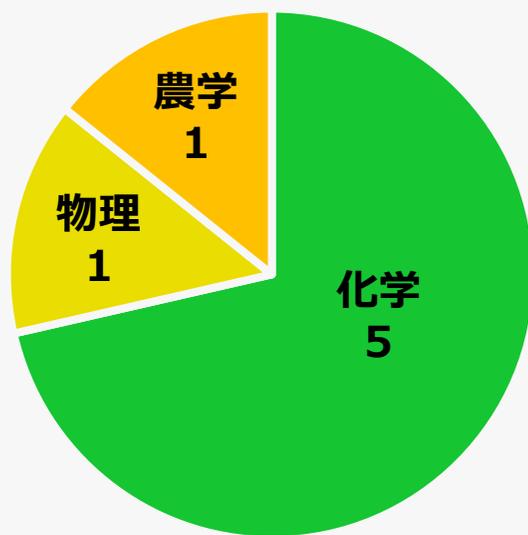
また、第1部同様に内定者7人の体験談を紹介しています。勉強方法や勉強スケジュール等については、内定者個人の見解に過ぎないことをご留意ください。あくまでも、本冊子は参考としてご覧いただければ幸いです。

### □ 公務員試験の基本データ

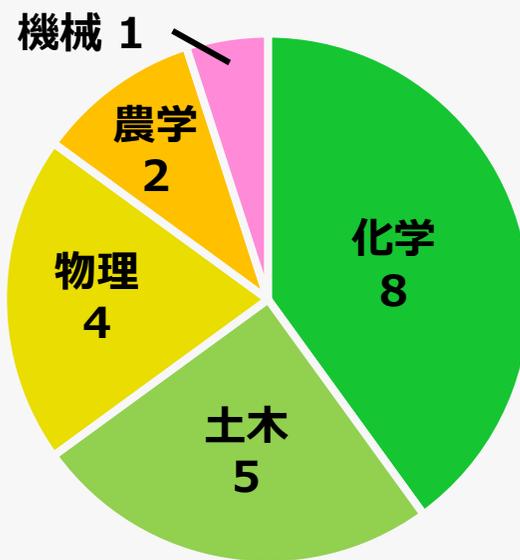


#### □ 試験の区分

令和6年度入省予定内定者



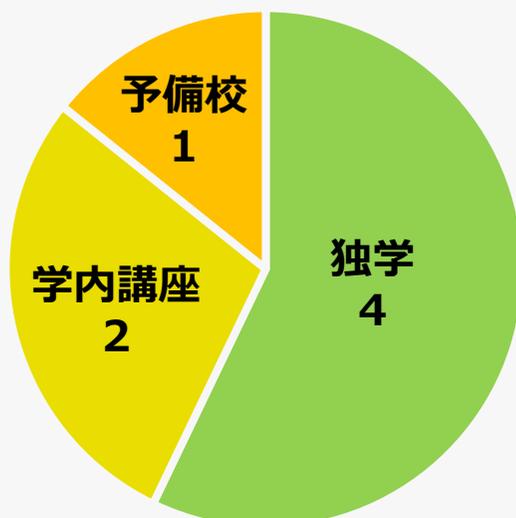
過去5年間



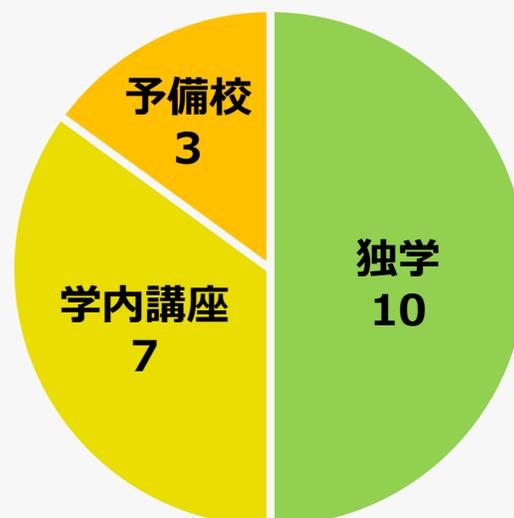
(単位：人)

#### □ 勉強方法

令和6年度入省予定内定者



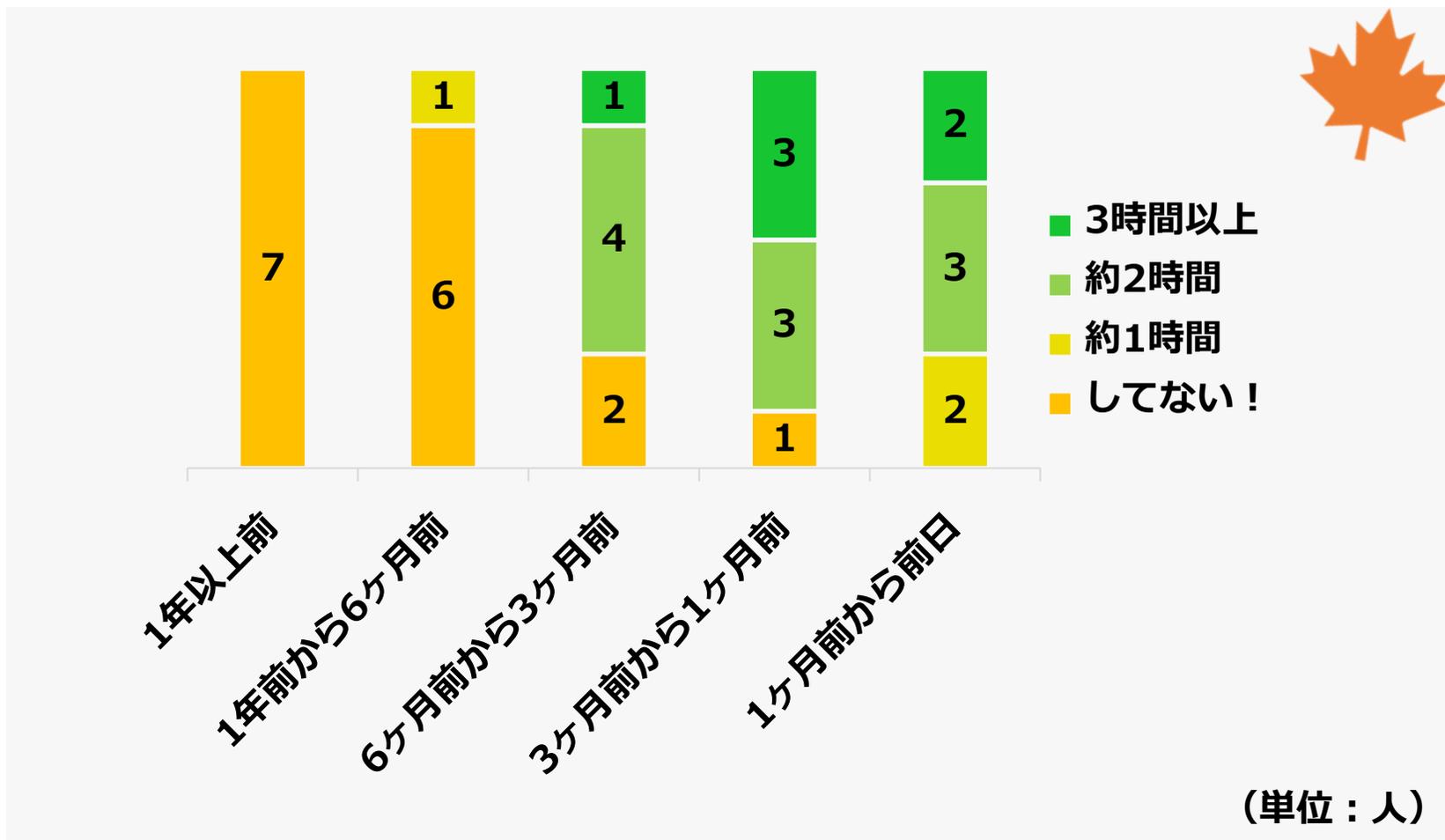
過去5年間



(単位：人)



□ 時期別の1日あたり勉強時間



□ 席次



## □ 国家公務員一般職試験の概要

試験区分には専門科目による区分が存在します。また、試験は大きく2つに分けられ、「1次試験（多肢選択式試験 + 記述式試験）」「2次試験（人物試験）」があります。これらの筆記試験の過去問は人事院に請求することで入手できます。

### 1次試験

#### 基礎能力試験（多肢選択式）

いわゆる教養試験で、配点は2/9です。問題は多岐に渡り、国語力や英語力、頭の柔らかさ、知識力などが試されます。出題数は40題でしたが、2024年度試験より30題となることが発表されています。

#### 専門試験（多肢選択式）

選択した専門科目の知識が試される試験で、配点は建築区分で2.5/9、建築以外の区分で4/9と高く設定されています。40題出題で40題回答となっている専門区分が多いですが、選択問題を含む区分も存在するので、区分ごとによく確認が必要です。

#### 専門試験（記述式）

選択した専門科目で出題されたテーマに対し、社会的な問題等を織り交ぜて自分の意見を論ずる小論文形式の論述問題（建築区分は製図問題）です。配点は建築区分で2.5/9、建築以外の区分で1/9です。

これら3つの試験は全て同日に行うため、長丁場の体力勝負となります。

### 2次試験

1次試験に合格後、2次試験へと進みます。

#### 人事院面接

当日までに面接カードを記入して、基本的にその内容に沿って質問される個人面接で、配点は2/9です。面接時間はおよそ10～20分程度で、面接官は3人です。

### 官庁訪問

#### 官庁訪問

見事2次試験を合格し、最終合格した人は採用名簿に掲載され、官庁訪問を受けることが可能になります！最終合格=採用ではなく、採用されるためには官庁訪問で各府省から個別に内定を貰う必要があります。名簿は5年間有効（2022年度までに合格された方は3年間有効）なので、少しでも興味があるのなら前年度から積極的に試験を受験することをおすすめします。

官庁訪問の詳細については第3部で説明します。

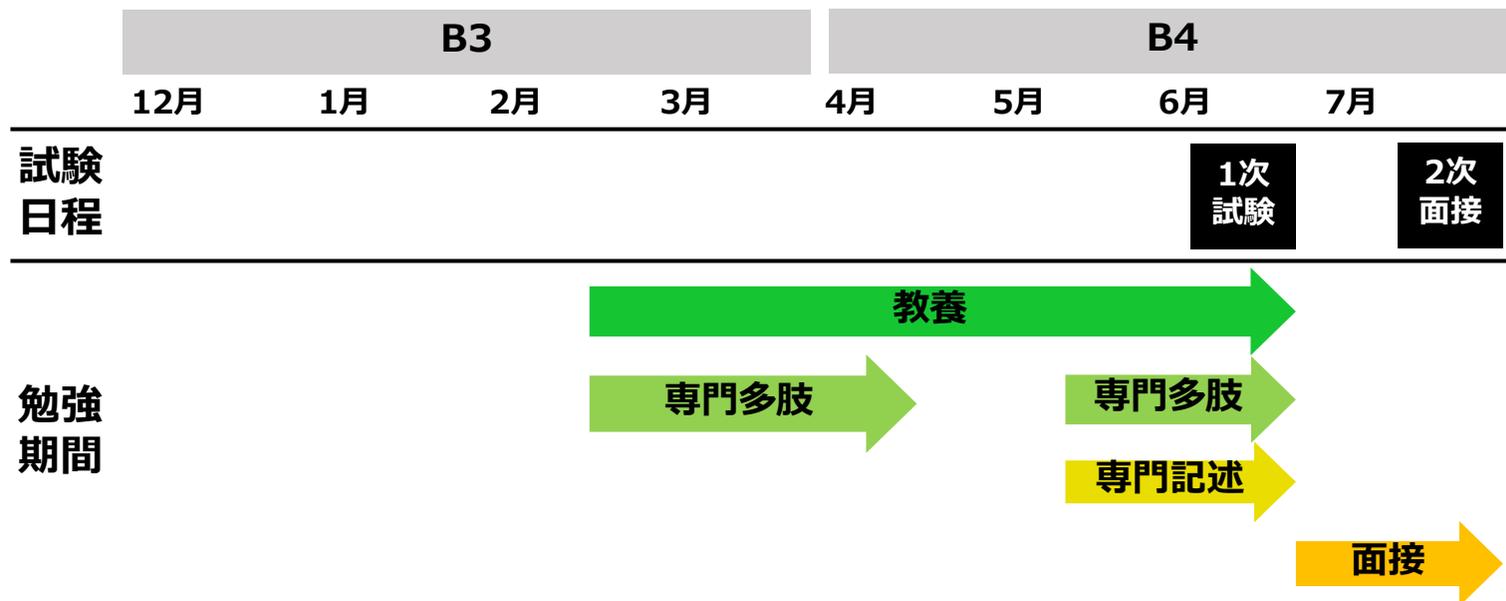
# No.1 じゅごびそ

試験区分：農学

合格年度：2023年度

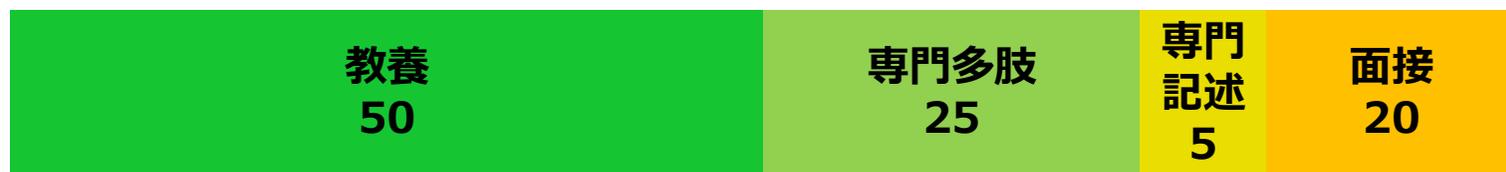
出身大学：神奈川県/農学部/生物資源開発学科

## □ 勉強スケジュール



国家公務員になろうと思った時期が遅かったため、全体的に開始時期が遅めです。他の公務員試験で専門科目が無かったり、腕試しに受けた総合職試験では農学ではない専門科目を選択していたため、専門科目の勉強が途中で途切れていました。

## □ 各試験の勉強量バランス



空き時間にできることと他の公務員試験とも共通していたため、教養の勉強配分が多くなりました。専門科目用に対策本を買いましたが、あまり活用できませんでした。

## □ 試験結果

席次：上位 60～80%

## □ 利用してよかったもの

- ・ 過去問
- ・ 大学の授業スライド

### Success !!

時間が無いときは1問だけでもなど、空き時間を使ってコツコツできました。

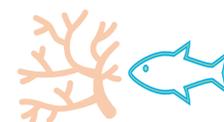
### Failure ...

勉強の開始時期が遅かったため、対策時間が足りず、ずっと焦りを感じていました。

## □ 各試験の具体的な対策

### 教養

数的処理・判断推理は時間は対策するうちに、時間をかければ解けるような問題が増えていったので、早く解くより、正確に解くことを意識して過去問で演習していました。英語は苦手だったため、時間をかけても正答率が上がらないと判断し、早々に捨て問にしました。



### 専門多肢

前ページで記述の通り、本屋さんで買った農学対策の本も持っていましたが、大学の授業で触れてないことばかりで頭に入ってこなかったため、使うのをやめてしまいました。基本的に大学の授業で配信されていたスライドをスマホでダウンロードして、空き時間に読んで思い出していました。

### 専門記述

教養試験と専門多肢式に時間を割いていたため、ほとんど対策できませんでした。農林水産省のHPを見て政策のインプット、それをもとに周囲の人に手伝ってもらいながら、農業における問題の対策等の意見を自分の言葉で伝えられるように練習しました。書いて意見をまとめる対策の仕方はしなかったため、1度でもいいから書いておけば良かったと思います。

### 人事院面接

官庁訪問の後だったため緊張することや話す内容に困ることなく、挑みやすかったです。ただ、環境省といった特定の省庁の働きたい理由ではなく、国家公務員として働きたい理由を述べなければならぬのでそこは注意しました。



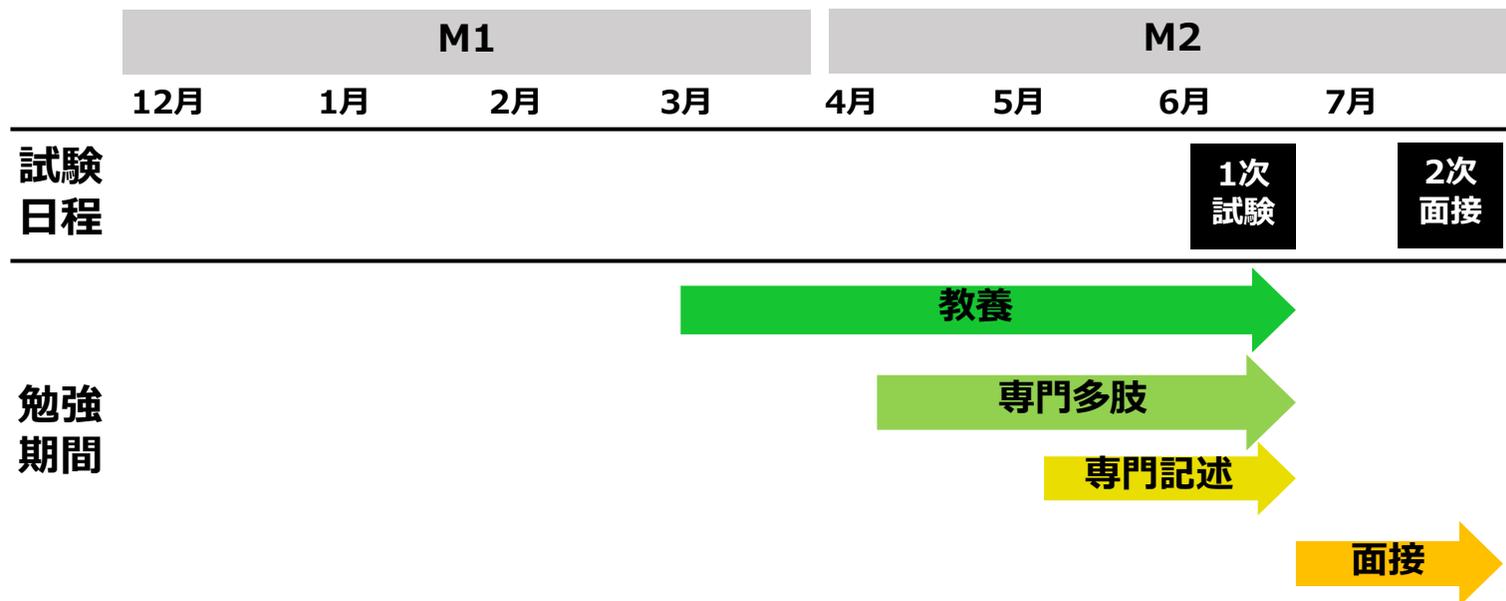
# No.2 晴れ男

試験区分：物理

合格年度：2023年度

出身大学：千葉県/理学系研究科/地球惑星科学専攻

## □ 勉強スケジュール



専門多肢についてはもう少し早い段階で勉強を始めてもよかったかもしれないです。1次試験の合格発表後すぐに官庁訪問がありその後、2次面接があるので志望動機や各省庁でどう働いていくか？のイメージは1次試験後すぐに対策を行いました。

## □ 各試験の勉強量バランス



教養の中でも読解や推理に多くの時間を費やしました。特に推理問題は民間のSPIのようなWebテストよりも少し難しいので、しっかりと対策を行いました。専門多肢は自分が学部で物理選考ではなかったために比較的参考書の読み直しなどが大変でした。

## □ 試験結果

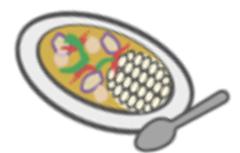
席次：上位 20~40%

## □ 利用してよかったもの

- 『新スーパー過去問ゼミ』シリーズ

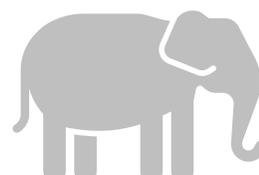
### Success !!

面接対策は就活軸をしっかりと持っていたことで志望動機をよく話せました。



### Failure ...

提出書類や申し込みなどをギリギリに行わず、余裕をもって取り組むべきでした。



## □ 各試験の具体的な対策

### 教養

読解・推理・一般常識の3分野がメインになります。時間がある方はすべてをまんべんなく対策するとよいと思います。しかし、民間との併願や卒論・修論関係で忙しい人については読解や推理は民間のウェブテストと似た問題が出てくるため、ここでしっかり対策を積み重ねて点数を稼ぐ、という方針でもよいと思います。私の場合は数的推理、判断推理の対策に重点を置きました。なお、一般常識については現代社会の問題が出題されるため、ニュースなどに目を通すだけでも対策にはなるとおもいます。

### 専門多肢

やや問題数が多かった記憶があります。簡単なものでは高校生の知識で解けるような問題から学部の専門知識に近いところまで出題されます。講義ノートや学部レベルの参考書や中心に復習し、物理の定理や公式のあてはめ方を中心とした演習を行いました。また、過去問演習では特に時間を意識して取り組みました。試験本番も解きやすい問題から解くことを意識するとよいと思います。



### 専門記述

試験時間は短いため、いかに要点を抑えて、かつ採点者に伝わるように記述するか、が問われていると思います。数式を用いて説明する場合はその変数や係数は何を表しているか？であったり、1から導出するのではなく、本質となる式を細かい要素に分解して説明する、というほうが良いと思います。とにかく、制限時間内に書く練習をしておきましょう！

### 人事院面接

約5分～10分程度の面接です。これは官庁訪問の面接でも言えますが、とにかく緊張しすぎずリラックスして臨みましょう。質問内容としてはなぜ国家公務員なのか？と質問され、それをもとに深掘りされるため、自分の考えや回答をしっかりと整理しておきましょう。



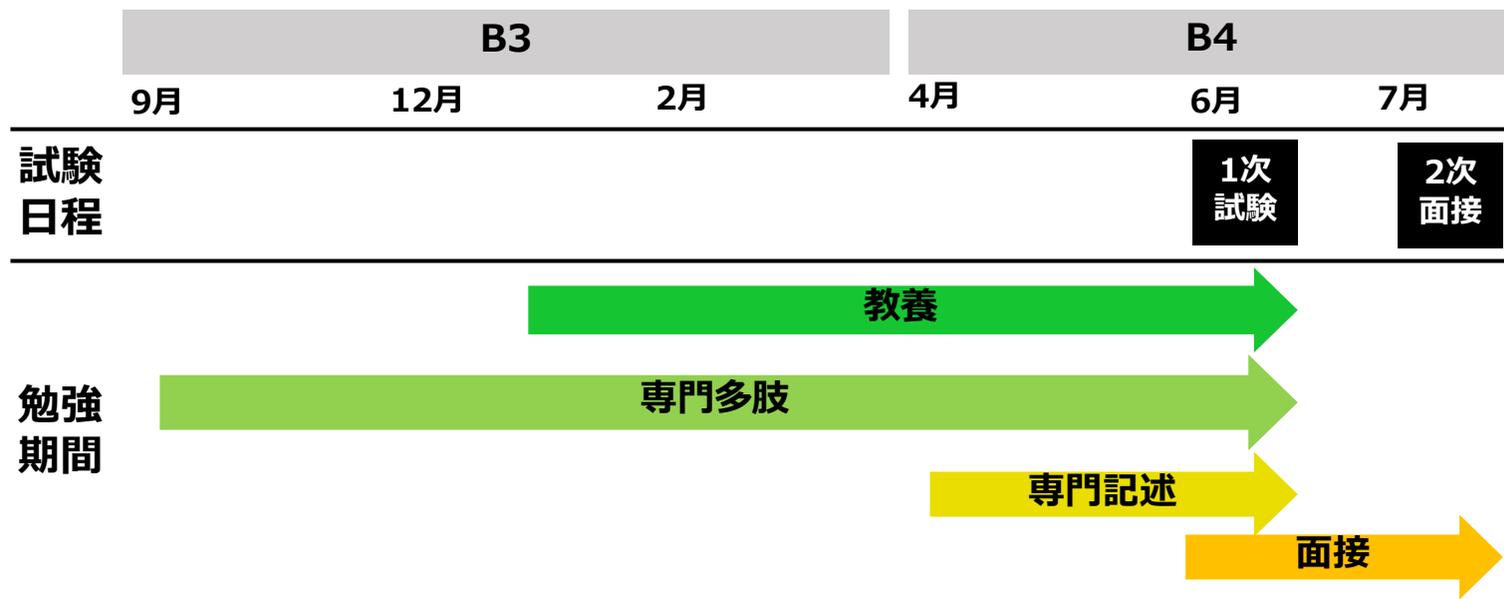
# No.3 おもち

試験区分：化学(大卒程度)

合格年度：2023年度

出身大学：静岡県/理学部/化学科

## □ 勉強スケジュール



専門多岐の問題が、見たことのないような問題も多く、対策に時間がかかりそうだったので専門多岐の勉強から始めました。そして冬休みから教養の勉強に取り掛かり、4年生になってから記述と面接の対策を行いました。

## □ 各試験の勉強量バランス



大学の学内講座を受講して、教養と面接の対策を行いました。専門多岐は本屋で対策本を購入し、繰り返し解きました。

## □ 試験結果

席次：上位 0~20%

## □ 利用してよかったもの

- 『新スーパー過去問ゼミ 化学』

### Success !!

専門多岐が一番配点が高いので、本番失敗しないように対策をしっかり行ったことです。



### Failure ...

専門記述の対策をあまりしなかったことです。本番は構成を練るのに時間がかかってしまい、最後まで書ききれないのではととても焦りました。



## □ 各試験の具体的な対策

### 教養

主に数的処理と文章理解・資料解釈を勉強しました。数的処理は学内講座の動画を視聴し、そこで解けなかった問題をスラスラ解けるようになるまで繰り返し解きました。文章理解・資料解釈は3年生の3月頃から1日に6問ほどを解いていました。

そのほかの科目はほとんど勉強しませんでした。時間のある時にテキストをパラパラと眺めるくらいしかやっていませんでした。

### 専門多肢

『新スーパー過去問ゼミ 化学』と国家一般職の過去問を用いて勉強しました。スーパー過去問ゼミは3年生の夏休みから試験当日までに5周ほど繰り返し解きました。1月ごろまでは1問1問解くのに非常に時間がかかってこの調子で大丈夫だろうかと不安になりましたが、だんだんスラスラ解けるようになっていきました。また、4月ごろから過去問を解き始めました。過去問はスーパー過去問ゼミで出てきた問題も多く、比較的時間をかけずに解くことができました。

### 専門記述

5年分くらいの過去問を見て、2年分を実際に書いてみました。書いたものを添削してもらったりは特にしていませんが、その設問のテーマについて調べたり、記述の書き方について勉強したりしていました。専門記述はとりあえず足切りにならないようにするというのを第一に気を付けていました。



### 人事院面接

官庁訪問が終わった次の日に人事院面接があったので、あまり対策を行う時間がとれませんでした。しかし、人事院面接は官庁訪問に比べて短い時間で行われるので、官庁訪問の時に話した内容を簡潔にまとめて話すことを心掛けて面接に臨みました。

また、当日は待ち時間が3時間ほどあり、時間を潰せるものを何も持って行かなかったため、ずっと緊張しながら自分の番を待っていたことを覚えています。



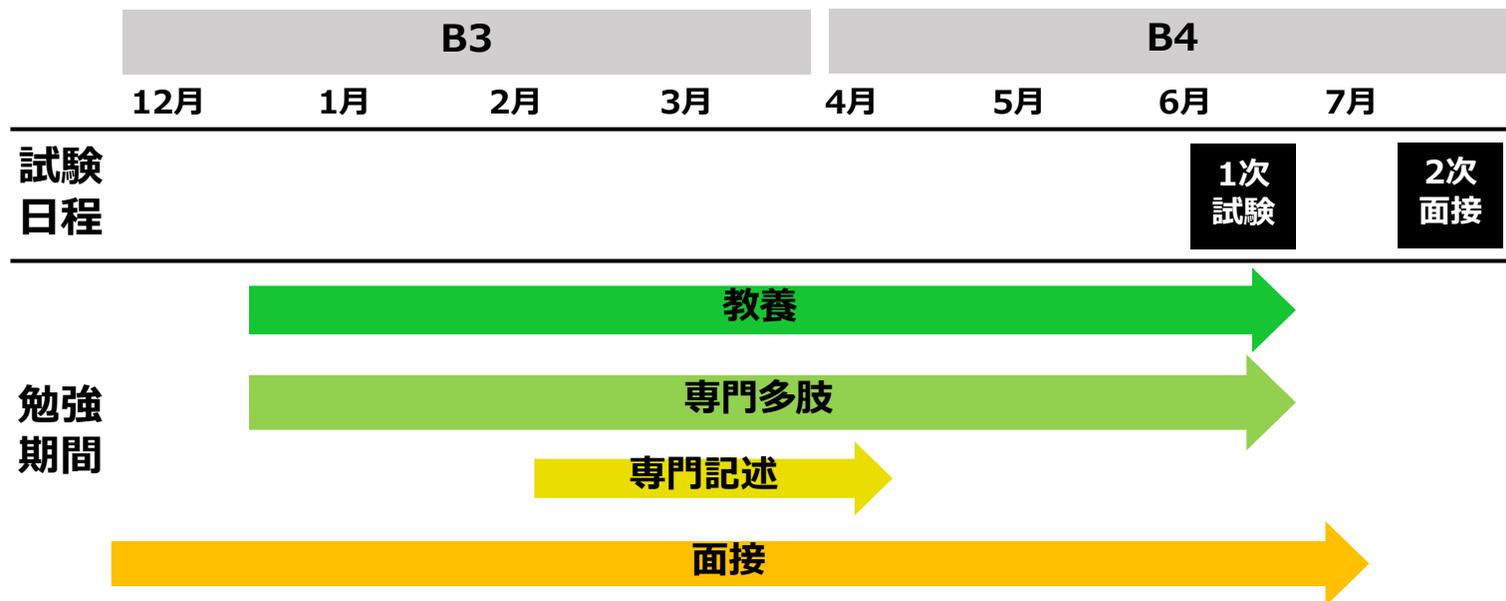
# No.4 ペンタコス

試験区分：化学

合格年度：2023年度

出身大学：熊本県/工学部/材料・応用科学科

## □ 勉強スケジュール



面接については、民間企業の早期選考などから練習していたので、B3の10月ごろから始めていました。また、教養と専門多肢については、自分の得意な分野と、難しいけれど面白いと思える分野を中心に行っていました。専門記述についてはあまり勉強していませんでした。

## □ 各試験の勉強量バランス



筆記試験については、点数配分が教養に比べて専門多肢は高いため、あまり勉強できない期間は専門多肢の勉強をしていました。また、専門記述については、回答の時に必要になるとと思われる専門的な知識と時事の知識を集めることで対策をしていました。

## □ 試験結果

席次：上位 20~40%

## □ 利用してよかったもの

- ・大学のレジュメや教科書
- ・学内講座
- ・ハローワークなどの面接対策



## □ 各試験の具体的な対策

### 教養

まず、教養の中で問題数の多い「数的処理」と「文章理解」は、たくさん勉強をして損はないと思います。特に、数的処理は問題集を何周もして本番でもスムーズに解けるまで勉強しました。また、歴史系は元々興味があったので、進んで勉強していました。理科系は物理と化学は専門多肢の試験と被る分野が多いので、教養としての勉強はしていません。いくら専門多肢のほうが配点が高いといっても、教養も取れていないと合格点には届かないので、取れるところは確実にとるといふ思いで勉強していました。

### 専門多肢

化学の専門多肢には、工学の基礎と化学があります。まず、工学の基礎に関しては、数学と物理が出題されます、これら2つの科目はひたすら練習問題を解いて、解き方を学ぶしかないと考えます。また、化学に関しては、大学のレジュメを参考にして問題集を解いていました。正確な情報ではないかもしれないので、大きな声でお勧めできないのですが、苦手な分野はYouTubeで解説動画などを見て勉強していました。

### 専門記述

推測ではあるのですが、専門記述について、模試などを解く中で理系は自分の専攻に近い内容が出る可能性が高いと思いました。ゆえに、自分の専攻分野が社会や公務員としてどのように役立つかなどの情報や知識を蓄えることを行っていました。また、教養で出題される時事問題なども専門記述で活かせることもあったので、教養のためにも専門記述のためにも時事系の知識も入れることをお勧めします。

### 人事院面接

面接前の準備としては、やはり自己分析と職種研究です。自分のことと相手(省庁や国家公務員について)のことを理解を深めていました。また、面接練習の時に意識していたことは、いつでも笑顔を絶やさないことです。一緒に働きたいと思ってもらえるために、笑顔で受け答えすることが大事だと思います。しかし、面接はとても緊張するので、一朝一夕でできるものではありません。だからこそ、面接練習の時から笑顔を意識していました。

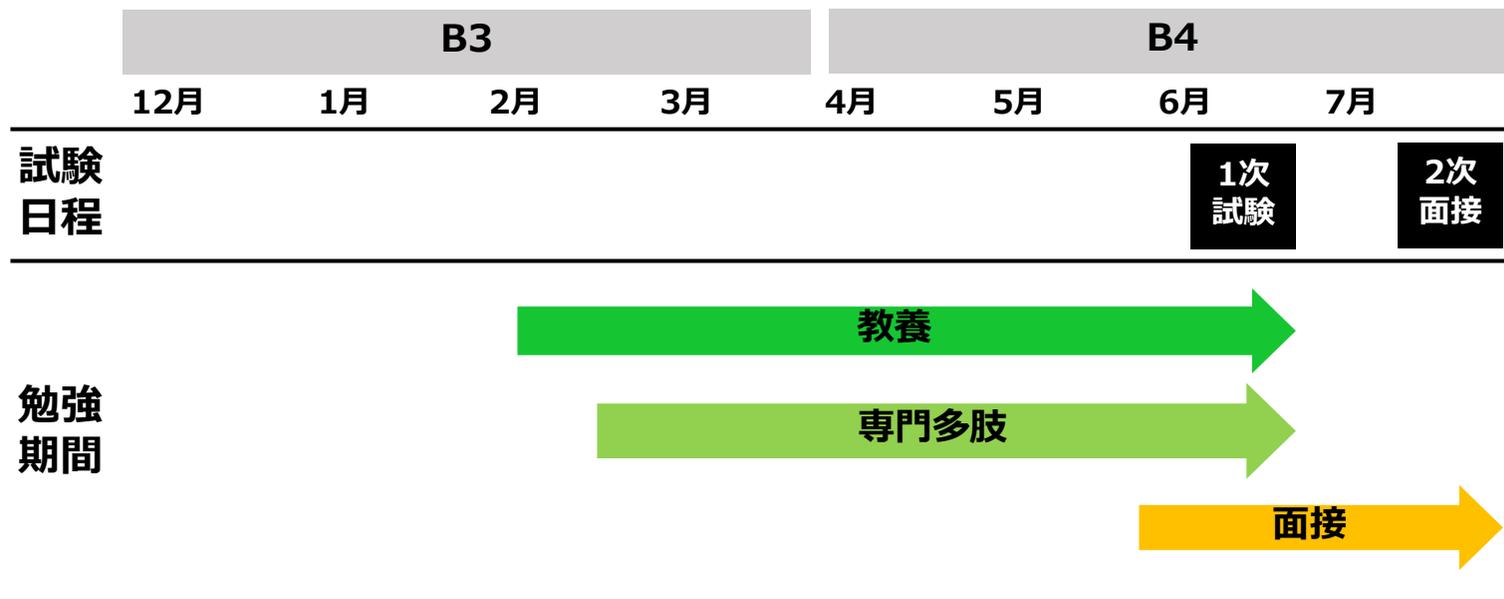
# No.5 アカギ

試験区分：化学

合格年度：2023年度

出身大学：東京都/創造理工学部/環境資源工学科

## □ 勉強スケジュール



B3の大学の各科目の試験があり、2月から本格的に勉強し始めました。2、3月は1日の大半を勉強時間に費やしました。4、5月は研究と教育実習と並行して勉強し、5月末から面接対策を進めたことで、面接カードもしっかりと練った上で作成することができました。

## □ 各試験の勉強量バランス



教養は基本的に時事問題を勉強し、面接対策にも使える知識をつけてきました。配点の高い専門試験について時間を費やしました。

## □ 試験結果

席次：上位 20～40%

## □ 利用してよかったもの

- 『公務員試験 技術系 新スーパー過去問ゼミ』
- 予備校が配信してるYouTube動画（時事問題の動画など）

### Success !!

予備校に通わず、予備校の冊子を用いることで、厳選された問題だけを解けました。



### Failure ...

公務員対策をし始めた時期が短く、専門試験の勉強が比較的足りず、あまり点数が取れませんでした。

## □ 各試験の具体的な対策

### 教養

一般教養の中でも特に時事問題を中心に学習しました。意図としては、時事問題は他の問題に比べて、比較的簡単であったことと面接対策になると考えたためです。ニュースや時事問題がまとめられたYouTubeを見て勉強しました。また、暗記科目については、政治と憲法に力を入れました。これらをメインで勉強しました。

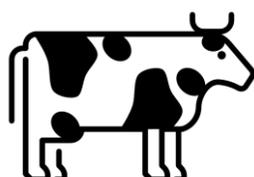
試験前1,2日前は、時事問題や憲法に加えて、数的処理や読解問題・判断処理の解き方を少し確認程度で解くような対策をとりました。

### 専門多肢

主に活用していた本は『公務員試験 技術系 新スーパー過去問ゼミ』です。この本を1周して、苦手なところや知らないところを洗い出しました。2周目以降はそこを充填的に学習しました。より多くの問題数を熟すために、予備校の専門多肢の問題を取り寄せて使用しました。そこには、解説や問題量を確保するため活用しやすかったです。

### 専門記述

特にしてません。  
過去問を調べた上で、専門多肢の試験の対策を優先しました。



### 人事院面接

面接カードでは、意外と書ける量が少ないため、簡潔に書かなければなりません。その上で、面接カードで書けなかった部分も補って説明できるように対策を行いました。面接カード以外の質問については、サイトや本で調べると質問内容についていくつか掲載があります。これらを参考に、それらの質問に対して答えられるように準備しました。当日は、面接時間が15分と短かったため、比較的簡潔に答えることに努めました。

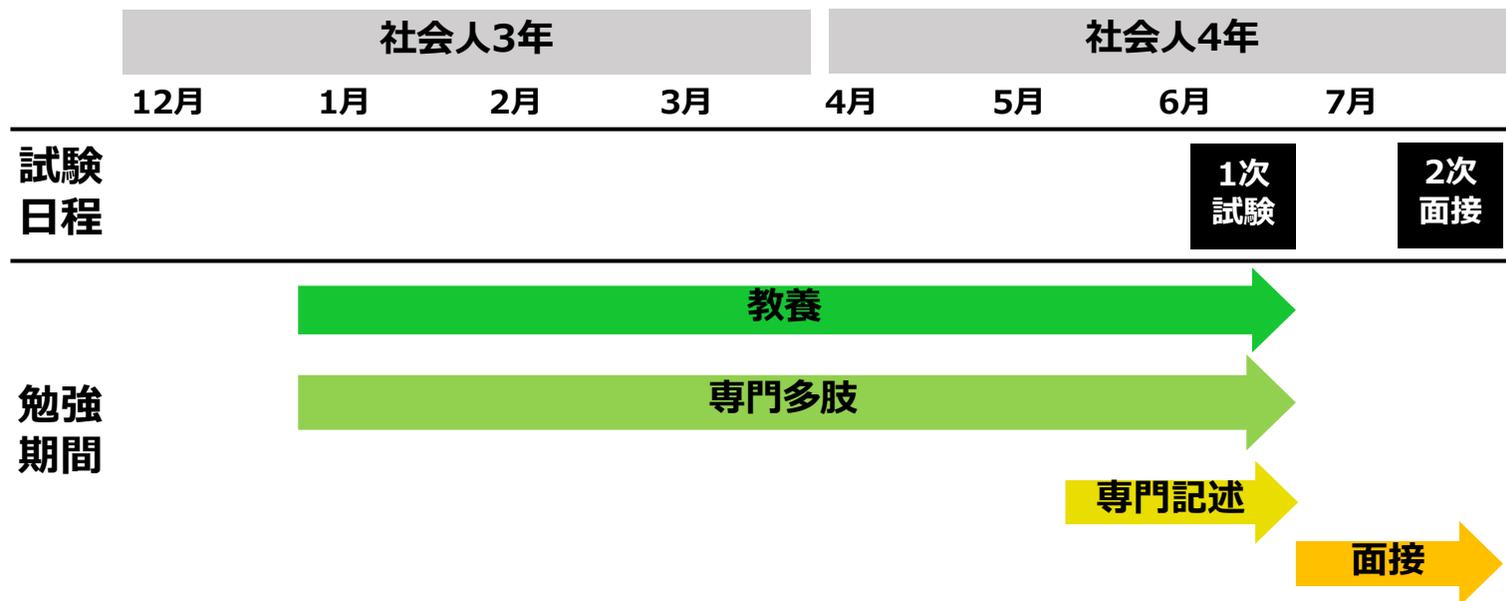
# No.6 むめも

試験区分：化学

合格年度：2023年度

出身大学：京都府/工芸科学部/物質工学課程

## □ 勉強スケジュール



年末年始休暇から本格的に勉強を始めました。出勤前に文章理解を毎日1～2題ずつ解き、仕事が終わってから物理や化学など専門多岐の勉強に時間を充て、寝る前は英単語帳や暗記科目の本に目を通していました。官庁訪問の準備や面接対策に関しては一次試験が終わってから取りかかりました。

## □ 各試験の勉強量バランス



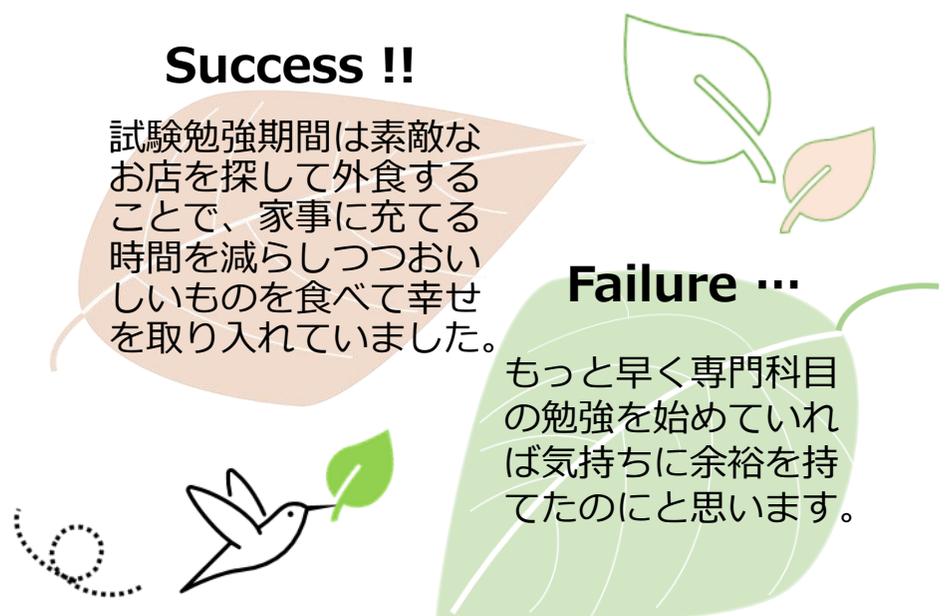
専門の勉強にもっと時間を充てるべきでした…。専門記述に関しては、試験前日に環境分野のキーワードやホットな話題をチェックしました。面接対策は1次試験が終わってから取りかかりました。

## □ 試験結果

席次：上位 40～60%

## □ 利用してよかったもの

- 『技術系 新スーパー過去問ゼミ 工学に関する基礎（数学・物理）』実務教育出版
- 市の就職支援窓口



## □ 各試験の具体的な対策

### 教養

判断推理と数的推理は『解法の玉手箱』を使いました。あと少しで解けそうと思って粘りすぎると、そこから抜け出せなくなり時間が無くなります…。文章理解は『スーパー過去問ゼミ』を使いました。問題に慣れるために、なるべく日を空けずにほぼ毎日、少しずつ問題を解きました。



### 専門多肢

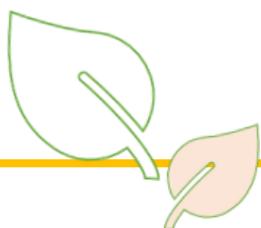
専門は高校・大学時代の教科書や問題集に加えて最新の参考書をいくつか買い足しました。物理に関しては高校時代の問題集を何度か解きました。化学は大学時代の教科書に加えて図書館の本を借りたりと、分野に応じて分かりやすい本を見つけて対策していました。よく使っていた参考書は『セミナー物理』、『技術系 新スーパー過去問ゼミ 工学に関する基礎(数学・物理)』、『技術系 新スーパー過去問ゼミ 化学』、『微分積分(裳華房)』です。

### 専門記述

試験前日に環境分野のキーワードやホットな話題をネットでできるだけ多くチェックして、文章を書く練習はしませんでした。当日はキーワードをつなげて文章をつくり、正しいことを書く以上に、間違ったことを書かないように気を付けました。

### 人事院面接

面接に関しては本屋さんで最新の参考書を購入し、聞かれそうな質問に対してどう答えるか、自分なりのQ&A集のようなものを作って市の就職支援窓口で面接練習をみてもらいました。人事院面接は時間が短いので、分かりやすい内容をスムーズに話せるように意識しました。



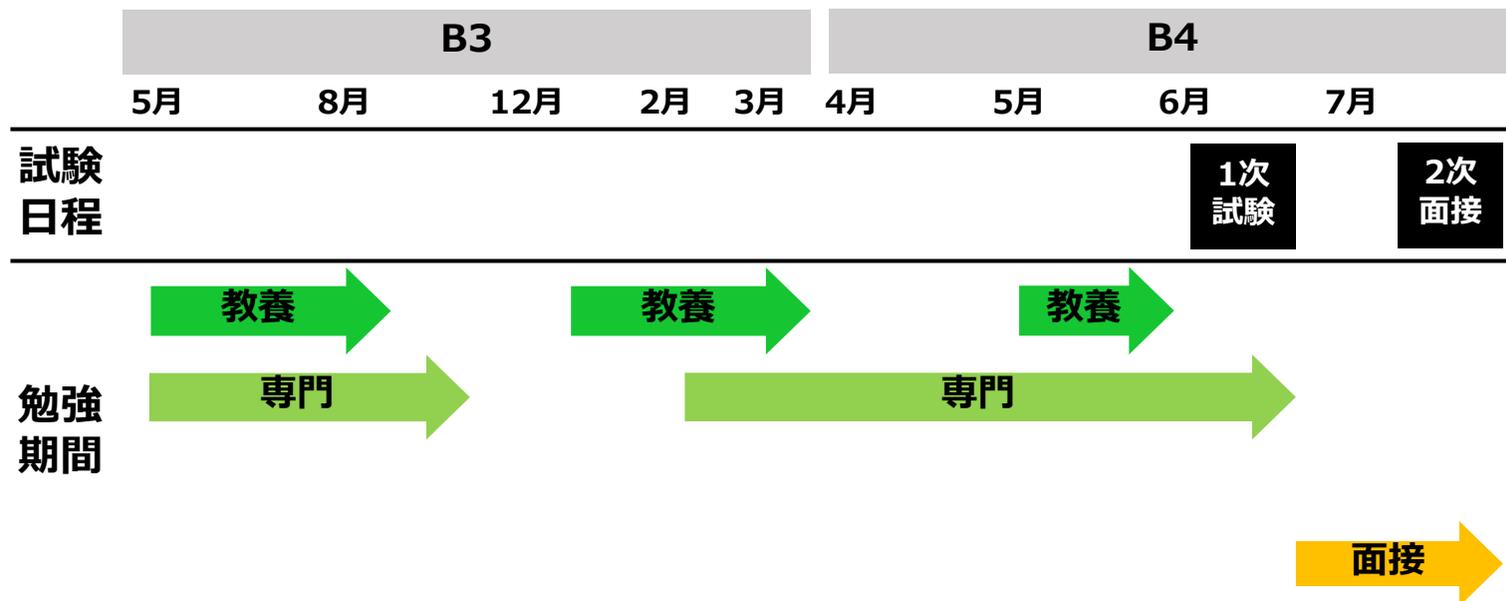
# No.7 ちばっこ

試験区分：化学

合格粘度：2023年度

出身大学：東京都/工学部/化学物理工学科

## □ 勉強スケジュール



5月に予備校に入り、数的処理と工学の基礎を勉強し始めました。化学の勉強は春休みから始めましたが、想定よりも範囲が広く、時間がかかりました。ただ、大学の授業で学んだことも多く出題されていて、復習する感覚で進められました。

## □ 各試験の勉強量バランス



教養科目は人文、社会科学は一切触れず、数的処理、文章理解を重点的に勉強しました。また、試験の4か月前からは配点の高い専門科目に時間をほとんど費やしました。専門記述は模試で添削された用紙を見直して、面接は1次試験が終わってすぐ準備に取り掛かりました。

## □ 試験結果

席次：上位 20~40%

## □ 利用してよかったもの

- ・ TACのテキスト(過去問)
- ・ 大学講義のレジュメ

### Success !!

早めに教養、工学の基礎の対策をしたので、試験直前は化学に集中して取り組みました。

### Failure ...

面接の経験がほとんどなかったので経験を積むべきでした。

## □ 各試験の具体的な対策

### 教養

数的処理、文章理解を重点的に予備校でもらったテキストで演習しました。人文科学、社会科学は全く手を付けなかったため、その他の科目の時間配分を決めました。問題を解くのが遅かったためそれでも時間はギリギリだったと思います。

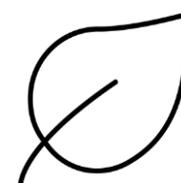


### 専門多岐

予備校のオンライン授業を受けつつ、もらったテキストで演習しました。大学で学んだことがほとんどでしたが、有機化学と分析化学は苦手だったかつ忘れていた部分が多かったため何度も演習しました。間違えた箇所はマークをつけて時間を空けてまた解きなおすようにして、不安な分野を少しでもなくすように心掛けていました。

### 専門記述

過去問の解答例を記述の構成の参考にしたり、模試で添削されたものを何度か見直しました。ただ、専門多岐の方が配点が高く重要だと思ったので、練習にあまり時間は費やしませんでした。



### 人事院面接

官庁訪問が終わったすぐ後だったので、その反省を踏まえつつ面接カードを作成しました。また面接カードに書かれている質問以外にも過去の受験生の体験談を参考にしながら予想しました。練習する暇もなく本番を迎えましたが、面接カードに沿った質問ばかりで慌てることなく答えられました。

